

「頭痛」に対するOTC鎮痛薬の有用性

○山見 尚子¹⁾、浦野 一貴¹⁾、長友 保憲¹⁾、野田 千里¹⁾、福永 雅史¹⁾、
山室 隆雄¹⁾、溝口 慎也¹⁾、川瀬 美紀²⁾、比嘉 豊²⁾、本屋 敏郎²⁾

¹⁾ (株)ユネット 清風薬局

²⁾ 九州保健福祉大学薬学部 臨床薬学第一講座

【目的】昨今では医療用医薬品のOTCへのスイッチ化もあり、セルフメディケーションの自由度が上がっている。その一方で、OTC医薬品がどの程度お客様に満足な効果をもたらしているのかを知る機会は、医療用医薬品に比べると少ない。そこでOTC医薬品の効果や使用後の満足度などに関する生の声を聞き取り、その情報をお客様への情報提供に役立てたいと考え本調査を行った。なお今回は、OTC医薬品の中で、頭痛薬を調査対象とした。

【調査方法】平成24年2月1日～3月16日、清風薬局にOTC医薬品を購入に来られた一般消費者を対象に、店頭でのアンケート形式により調査を行った。主な調査項目は、年代・性別、使用薬剤名、頭痛分類、効果満足度、有害事象の有無、鎮痛効果などとした。なお鎮痛効果は、頭痛程度を0(痛みがない)～5(これ以上の痛みがないほど痛い)の6段階で表したVASスコアを用い、経時的に評価した。

【結果】調査期間中の有効回答者は30名、性別は男性7名、女性22名、不明1名、年代は20代2名、30代3名、40代3名、50代5名、60代3名、70代9名、80代4名、90代1名であった。使用商品は11品目であった。使用目的とした頭痛のタイプは、緊張型頭痛15名、片頭痛6名、感冒による頭痛1名、不明・その他8名であった。効果満足度では、大変満足21名、満足9名であり、不満はなく、服用による有害事象もなかった。薬剤使用前、VASスコア2(少し痛い)以上の対象者21名の平均スコアの変化は、服薬前：3.0±0.2(SE)、30分後：1.2±0.3、1時間後：0.4±0.1、2時間後：0.1±0.1となり、30分後には57%(12名)が、1時間後は90%(19名)がスコア1以下となっていた。

【考察】本調査では、頭痛に対するOTC頭痛薬の鎮痛効果は高く、有害事象もなく、患者の満足度は高かった。また薬剤服用後30分には対象者の半数以上が、1時間後には9割があまり痛みを感じなくなり、薬剤の効果が得られていた。今回の回答者の多くがもともとVASスコア2～3の軽度・中等度の痛みに対して薬剤を用いていた点が、満足な鎮痛効果が得られた理由の一つと考えられる。今回は例数が限られ、頭痛の種類や薬剤の種類による効果や満足度の比較を行うことはできなかった。今後さらに詳細な検討を行ってゆきたい。



一般演題 / 口頭発表1(後半)
15:50~16:50 [C会場] 北九州国際会議場2F (21名発表)

10月11日(水) 15:50~16:50
会場: 北九州国際会議場

- 0-1-07 [頭痛]に対するOTC鎮痛薬の有効性
佐藤 美穂 (山口大学)
- 0-1-08 薬剤師の新たな武器～疾患啓発・副作用早期発見のための血縁検査～
佐藤 美穂 (山口大学)
- 0-1-09 プライマリケア薬剤師によるヘルスプロモーション
「薬師が生活習慣病予防に果たす役割」をテーマとした啓発活動の成果と課題
佐藤 美穂 (山口大学)
- 0-1-10 連続ドラッグ監視報告の現状
佐藤 美穂 (山口大学)
- 0-1-11 学校の遊泳用プール換水機種の除菌効果について～大腸菌を用いた汚染モデルでの検討
佐藤 美穂 (山口大学)
- 0-1-12 平成23年度 学校内における結核発生状況調査累計結果報告
佐藤 美穂 (山口大学)

山口大学